

第2回 穂積駅南地区地権者協議会 令和5年1月14日（土）実施

1. 開催概要

1. 意見交換結果の確認
2. まちづくりの目標と駅周辺のイメージについて
(ワークショップ形式)

※ 現地確認を実施



現地確認の様子

2. 協議会の内容

第2回は、JAぎふ穂積支店跡地を活用し、計画している公共施設や所有する土地の規模感を把握するため現地確認を実施しました。その後、現地確認の内容や第1回の地権者協議会の内容も踏まえ、「まちづくりの目標」について意見交換しました。

(1) 各グループの目標

グループ① 「住みやすい 便利でいいネと言われるまち」

- ・診療所などがあつた方が住みやすく、便利でいいネと言われるまちになると思う。

など

グループ② 「魅力・活気・コミュニティが集まるまち みんなのシンボルのホヅミ」

- ・「仲の良いコミュニティ」、「活気ある商店街」といったキーワードが挙がった。
- ・将来、車を手放すことを想定すると、市や地域のコミュニティ、ExSiteのようなまちづくり協議会などの地域の助け合いのもと、日常の不便さを解消していく必要がある。

など

グループ③ 「おいでよ 駅南！！」

- ・現在の駅南金曜市や弁当市で近所の人が集まることや、名古屋から穂積駅まで30分で行き来できることを想定すると若い人も移り住んでくるとも考えられる。将来、駅南に人が来てほしい、住んでほしい。

な

(2) 各グループのまとめ

- 将来目指すまちを実現するためには、まず駅周辺に人が来て、住むことが重要
- 人が集まることができるようなまちを目指していくことが重要

